解答プリント「中学２年理科・第２分野」

■確認プリント

16　動物のなかま，生物の変遷と進化

【評価の観点】思：思考・表現　　技：技能　　知：知識・理解

解答例	解説
1　知　(1)A　しめった皮膚(ひふ) 知　　B　うろこやこうら 知　　C　変温 知　　D　子はえら，親は肺と皮膚 知　　E　肺 知　　F　卵生 知　(2)①　鳥類 知　　②　哺乳類 知　　③　哺乳類 知　　④　両生類 知　(3)　背骨があるかないか	1　(1)(2)　背骨がある動物を脊椎(せきつい)動物といい，５つのなかまに分けることができる。 ●魚類（フナやコイなど） ・えらで呼吸する。 ・体表はうろこでおおわれている。 ・水中に殻(から)のない卵をうむ。 ●両生類（カエル，イモリなど） ・子はえらで，親は肺と皮膚(ひふ)で呼吸する。 ・粘膜(ねんまく)におおわれたうすい皮膚はしめっていて乾燥(かんそう)に弱い。 ・水中に殻のない卵をうむ。 ●は虫類（トカゲ，ヘビなど） ・肺で呼吸する。 ・体表はかたいうろこやこうらでおおわれていて乾燥に強い。 ・陸上に殻のある卵をうむ。 ●鳥類（ハト，ペンギンなど） ・肺で呼吸する。 ・体表の大部分が羽毛でおおわれている。 ・陸上に巣をつくり，殻のある卵をうむ。 ●哺乳類(ほにゅうるい)（ヒト，ウサギ，イルカ，コウモリなど） ・肺で呼吸する。 ・体表は毛でおおわれている。 ・子は母体内である程度育ってからうまれる。 (3)　背骨がある動物を脊椎動物といい，背骨がない動物は無脊椎動物という。
2　知　(1)　背骨がない 知　(2)　昆虫類 知　(3)　外とう膜	2　A：無脊椎動物（背骨のない動物） B：脊椎動物（背骨がある動物） C：節足動物（体やあしが多くの節に分かれている動物） D：節足動物，軟体(なんたい)動物以外の無脊椎動物 E：軟体動物（内臓を外とう膜(まく)がおおっている動物） F：昆虫類(こんちゅうるい)（体が頭部，胸部，腹部に分かれ，頭部に目，触角(しょっかく)などが，胸部に３対(つい)のあしとふつう２対のはねがある。全身が外骨格でおおわれ，体やあしが多くの節に分かれている。） G：甲殻類(こうかくるい)（あしの数は，昆虫類より多い。全身が外骨格でおおわれており，体やあしが多くの節に分かれている） H：昆虫類，甲殻類以外の節足動物